

Logistics
Real estate
Cooperative

物流不動産協同組合

あつまれ!!

参加者募集

ロジカレッジZ

若い世代のための物流コミュニティ

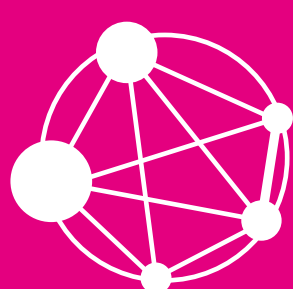
現場力+αの学びで“稼ぐ力”を身につける！若手が大活躍！！

αの学び＝次世代物流ビジネス

物流不動産協同組合が主催する「ロジカレッジZ」は、次世代がともに学び合うための場です。ロジカレッジZでは、物流の現場から社会を変える力を育むことを目的に、現場力とナレッジワークを融合し、DXを活用して生産性・品質・収益を高める「アドバンスト・エッセンシャルワーカー」の育成に取り組んでいます。かつて規制によって制約されていた物流を、あらゆる産業を支える自由でクリエイティブなビジネスとして捉え直し、製造・流通はもちろん教育や金融など多様な分野とのつながりを学んでいきます。日々の暮らしや世界経済を支える物流の大切さを知り、新たな働き方で物流の未開を切り拓き、社会に変革を起こす。未来の物流をリードし、「稼ぐ力」を本気で身につけたい方はぜひロジカレッジにご参加ください。入会は無料です。



詳しくはこちらから



Logistics
Real estate
Cooperative

物流不動産協同組合

ロジカレッジZ

次世代物流ビジネス入門カリキュラム



花房 陵

1955年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒、証券会社、教育出版社を経て、パーソナルコンピュータの生産工場への販売から、製造流通物流コンサルティングとして、３５年以上をすべての産業業種で経験し、その根底にある経営手段としての物流の重要性を体感している。物流部門で働くためのビジネス書を10冊以上まとめ、実務書としての評価を受けている。現在は経営顧問、研修講師、業界雑誌への提言などを行う。

講習の狙いと目的

高度経済成長とともに発展してきた物流は、かつては保護産業として規制を受けていた。規制は業界を固定化し、成長も衰退も産業とともにあり、自律した事業とは言えない長い時代の経験が残っている。産業の盛衰は、マーケットへのアクセスと動向に影響されるが、物流は産業ではあるものの、素材や原材料に捉われず、しかも製造流通サービス産業のすべての分野に活路を見出すことができる。教育や金融といった、モノとは縁がなくように見える業種でも、多くの物流サービスを利用しなければ成立できない。その意味では、物流は産業を支えるインフラでもあり、また産業とは別次元での活躍の機会が多くある、自由を手にした産業とも言える。

物流に興味を持ち、また無関心であっても、物流サービスは生活と産業を支えているわけであり、その実態を学び、これからの物流を担っていける人材の基礎知識と体系を学び、世界経済と人類の生活を支えている物流の大切さを実感できる講義となるよう整備している。

項目	内 容	項目	内 容
1	物流を取り巻く経済環境（エコシステム）をPEST分析（政治経済社会技術）の視点から、物流の現在地を理解する。簡単な歴史と現在、これからの期待を整理する	13	実務演習：課題図書についてのレポートとショートプレゼンテーション演習（顧客への提案手法を実践する）
2	我が国の物流政策の歴史を振り返り、産業構造の理解を深める。今後の日本経済、世界動向を俯瞰して、物流の果たす役割を再認識する	14	経営学を学ぶ。企業にはどのような機能と組織が必要か、そしてそれぞれはどのように機能接続を行っているかを知り、組織のもつ危険性と可能性を行動経済学の視点から学ぶ
3	我が国の主要産業（国際貿易）を外観する。製造流通業の違いとそこに求められる物流機能を知る。物流の５大機能とそれを支える技術体系を知る	15	多くの人が働く職場での、モラルとモチベーション、成長段階と自己肯定感の醸成に欠かせない要素を知る
4	産業と物流の関わり方を、流通構造やサプライチェーン全体から理解する。ビジネスモデルとして産業を捉えと、原材料調達生産流通から、マーケットへの継続的な供給を担っていることを知る	16	最新の技術動向を知る。インフラとなったデジタルツール、物流業界での標準ITツール、OMS,WMS,TMSとそれらを統合したSIP基盤システムの概要を知る
5	金融知識の基本を理解する。我が国の財政、金融、キャッシュのあり方は、デジタル通貨を含めて景気や社会を大きく変化させる。物流施設が金融商品である実態を知ることによって視点を変える	17	将来の物流動向を大きく変えるフィジカルインターネットを知る。世界で目指している共同化、環境保全のための温室ガス排出抑制のためのモーダルシフトの有効性を知る
6	規制産業としての物流業から、現在の事業環境を知り、閉塞感からの脱出に必要なイノベーションの可能性を探る。新結合という革新の手法を学び、問題解決手法を理解する	18	物流に欠かせないエネルギー動向を知る。再生可能エネルギーの将来像、燃料資源の動向、原子力のもたらす危険との対峙方法。
7	物流業界の全容を理解する。国際貿易、国内物流、倉庫運輸、ネット通販、モーダルシフトや24時間運営体制が可能なロボティクスを理解する	19	人類と物流の歴史を振り返り、爆発する人口、食糧危機、エネルギーを巡る紛争、各国の政治体制が物流ビジネスに及ぼす影響を考察して将来を描く
8	最新の物流センターの運営とその構造を知り、設備投資の改修計算手法を理解する	20	物流と不動産、大型物流施設とその発展性、産業の大転換期を迎えた21世紀のこれからを考察する
9	コンプライアンスと倫理がビジネスにもたらす影響を知る。なぜ法令遵守が言われるのか、不祥事や犯罪事件が倉庫でも起きている現実から、公正明大なビジネスのあり方を知る	21	日本の高度経済成長期に作られたインフラはほとんどが寿命を迎える。古い道路、倉庫、港湾、空港、駅、水道、ガス、公共施設を物流技術を利用して更新するための工程表を考える
10	産業におけるインソーシング、アウトソーシングの歴史をたどり、なぜ分業化が成果を生み出しているかを、科学的管理手法とHRMという100年続く手法を知る	22	ビジネスモデル・キャンバスを利用して、独自のビジネス構想を行う。インキュベーションモデルとなるように、スポンサーに対してのブレゼまでのレポートを作成するための協議会
11	工場と物流施設の違い、最新の物流センターが果たしている機能や役割を知り、未来の物流センターに期待できる分野を探る。工場であり、店舗である以上に何が実現できるかを探る	23	作成したプレゼンテーションの発表会、一次審査
12	ビジネスモデルキャンバス手法を利用して、ビジネス構造を理解する。マーケットを確保し、継続したビジネスにするために、経営者やリーダーは何を考えるかを知る	24	優秀作品についての意見交換と評価投票
教科	花房著作以外でも構わないので、物流関連図書をなるべく多く手にして欲しい。 推薦する書籍、井原隆一『財務を制するものは企業を制す』、唐津一『販売の科学』、シーナ・アイエンガー『選択の科学』、サイモン・シネック『WHYより始めよ』、レイ・クロック『成功はゴミ箱の中に』、パコアンダーセン『なぜこの店で買ってしまうのか』、エリア・ゴールドラット『ザ・ゴール』、アマゾン「1997年株主の皆さまへ」レター、大谷巖一『これからは倉庫で儲ける』『物流不動産ビジネスのすすめ』		
評価方法	出席率６０％、課題レポート提出２０％、評価試験結果２０％ 試験は期末のレポートにて採点評価を行う 評価はA～F（評価なし）		

※ロジカレッジZにご入会いただいた方は無料で全てのカリキュラムを受講いただけます